

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	独語第二		
英文授業科目名	Elementary German II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長倉 誠一		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
miura@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
達成目標：基本文法の大枠と、会話を含む基本表現を習得し、普通のドイツ語文を辞書さえあればほぼ理解できる程度の段階に達すること。

【前もって履修しておくべき科目】
独語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：秋葉裕一ほか著『ドイツ語100』三修社
参考書：独和辞典（5万語程度以上のもの）

【授業内容とその進め方】

内容は文法説明中心に進める。進め方は前期と同様で、練習問題などをできるだけ多く宿題に課すつもりである。なおそれに加え、ドイツ語文法の定着を目標として、基本動詞の用法を時間の許す限り取り上げることにする。

第1回：話法の助動詞、未来形

第2回：形容詞、比較級・最上級

第3回：同上

第4回：動詞の3基本形、現在完了・過去完了

第5回：同上

第6回：後期中間試験

第7回：再帰動詞・zu不定詞

第8回：同上

第9回：受動態

第10回：同上

第11回：基本動詞と文法復習

第12回：同上

第13回：関係代名詞・関係副詞

第14回：同上

第15回：後期期末試験

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

中間試験・期末試験および平常点(宿題をこなした上での出席)の結果をほぼ次のように総合評価する。成績評価 = (平常点 × 20%) + (中間試験の評価点 × 40%) + (期末試験の評価点 × 40%) ただし秀と優はあわせて全体の40%を原則とする。追試はしない。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は授業中なり授業後に随時大歓迎。

【学生へのメッセージ】

Ende gut , alles gut . と言えるように取り組もう。

【その他】